

神奈川  
シニア連合



第70号

横浜市中区山下町24-1

ワークピア横浜

神奈川シニア連合

発行責任者 池田徳治

# 連携を密に活動の充実

神奈川シニア連合2018年度「退職者会産別

代表者会議」は、5月30日(水)14時00分からワ

ークピア横浜において20産別代表と五役・常任

幹事女性幹事、顧問など44名が参加し開催され、

産別退職者会との連携を密に、今後の活動を充

実強化することの確認がされました。



会議は、三部構成・一部は会議、二部は講演、三部は懇親で開催され、第一部の会議では、シニア連合・永井会長、連合神奈川・柏木会長のあいさつを受けた後、池田事務局長から、①シニア集会は、47都道府県中19県で開催され、関東では神奈川が唯一開催。②連合神奈川の「制度・政策要求と提言」の取り組みへの参加など、第26回総会以降の活動報告と今後の取り組みの提案が行われました。

続いて、連合神奈川・米塚副事務局長から、連合神奈川の組織拡大の現状や関東学院大学経済学部で行っている寄付講座などが紹介され、全水道の加藤代表から「フードバンク学習会へ講師の派遣を」とのを要望がありました。

第二部の講演は「2018年度の介護保険の改定内容について」神奈川県高齢福祉課企画グループ・御菌生和彦グループ

から制度の仕組みの要点と制度改正について講演があり、参加者から①地域包括ケアシステムへの住民参加の重要性和加意識の現状。②要介護1・2の総合事業への移管には反対などについて意見が出されました。

第三部は、永井会長のあいさつと乾杯の音頭でスタート。参加者相互の自己紹介を含めた会話が弾む有意義な時間を過ごし散会しました。

## 「視察体験旅行」への参加者募集

神奈川シニア連合の2018年度「視察体験旅行」は、次の通り開催します。

- 日 時 10月15日(月)～16日(火)
- 場 所 「JAXA筑波宇宙センターと水戸弘道館」  
「五浦温泉周辺の復旧状況」の視察
- 参加費 一人 28,000円
- 募集人員 45人程度
- 申込締切 8月31日(金)
- 申込先 神奈川シニア連合事務局

電話 (045)21111133

FAX (045)20118866

Email senior@rengo.or.jp

# 多岐にわたる最先端技術を見学

## 施設見学交流会

神奈川シニア連合施設見学交流会は、6月22日(金)10時00分にJR川崎駅改札口に17産別の参加者50名が集合し、東芝(株)未来科学館を見学しました。

東芝(株)未来科学館は、1961年3月に創設された東芝科学館をリニューアルし、JR川崎



駅に隣接するラゾーナ川崎東芝ビル2階に2014年1月に開設され、東芝(株)の超電導リニアの原理や重粒子線がん治療に向けた最先端技術などが展示されているとともに、東芝(株)で開発し製品化された電球や家電など懐かしい製品も多数展示されています。

見学は、10時30分から約30分間2班に分かれてアテンダントの実演や説明を受け、自動改札装置の瞬時の処理に驚き、超電導のリニア実演では、手品を見ている感覚に陥りました。自由見学では、女性の参加者が50万ボルトの金属に触れた後、静電気で長い髪がイガ栗のごとく放射線になったのには驚くとともにその姿に皆が笑い、歴史的な製品の展示場では、幼少の頃使った家電を見てあれこれと会話を

弾ませるなど、驚きと感動・懐かしさを感じた施設見学となりました。

見学終了後は、マイクロバス2台に分乗して「アキイール塩

# 現在の集約金は、二、四七四円

「ボランティア基金」は、第26回総会において神奈川シニア連合25周年記念事業として社会貢献活動を継続的に行うことを目的に設立されました。

カンパ金は、①毎年10月末に最終集約する。②「ボランティア基金」は、社会福祉事業団体等が有効活用出来るカンパ金を複数年積み立て寄付できる。③寄付する団体と寄付額は、シニア連合幹事会で決定する。④カンパ金、寄付した団体や寄付額は神奈川シニア連合の会計監査を受け、総会において報告し承認を得ることとなっています。シニア連合は、会議・行事等の開催時に五役・常任幹事・幹事・退職者会産別代表者などにカンパの協力依頼を行い、現段

浜」に移動し、昼食交流会を行いました。食事後の交流では、31名がカラオケを歌うなど楽しい一時を過ごし、14時30分に散会しました。

階のカンパ金の合計額は22、474円(6月27日現在)となっています。産別退職者会においても、会議や行事などの開催機会を捉え「ボランティア基金」の取り組みをお願い致します。

